

ANAインターコンチネンタルホテル東京「MIXX バー&ラウンジ」

『ブラジリアン・サマーナイト・ブリーズ』開催

ブラジルのファッションブランド「オスクレン」と国民酒カシャッサ「セレッタ」とコラボレーション
「ブラジルの夏の夜風」をテーマにファッションナブルなトロピカルカクテルを提供

ANAインターコンチネンタルホテル東京【英語表記: ANA InterContinental Tokyo / 東京都港区赤坂 / 総支配人 ミシェル・シェルトー】では、36階からのきらめく夜景が彩りを添える「MIXX^{ミックス}バー&ラウンジ」(総席数144席)にて、7月1日(日)から8月31日(金)までの2ヶ月間、「ブラジリアン・サマーナイト・ブリーズ」と冠した夏のスペシャルメニューを提供します。本企画では、ブラジル発祥のファッションブランド「オスクレン」と、ブラジルの国民酒と言われるカシャッサのトップブランド「セレッタ」とのコラボレーションのもと、「ブラジルの夏の夜風」をテーマに、ファッションナブルなトロピカルカクテル3種をご提供いたします。

カシャッサとは、サトウキビを原料とした蒸留酒で、ブラジルの歴史と風土に深く根ざしていることから、ブラジルの国民酒とも言われています。アルコール度数が38~48%と高く、口の中に強く甘い香りが広がるのが特徴です。中でも「セレッタ」は、ブラジル国内で最も飲まれているハンドメイド・カシャッサの銘柄のひとつで、期間中提供するドリンク「セレッタ・ハイボール」と「カイピリーニャ」は、シンプルな組み合わせにより、カシャッサの魅力をストレートに味わうことができます。

一方、3種のトロピカルカクテルは、カシャッサをベースに、グアバやココナッツ、パイナップルなどトロピカルフルーツをふんだんに使い、カシャッサ本来の甘みを生かしながら、果汁で後味をさっぱりとさせたカクテルです。(詳細は次頁参照)カクテルの創作にあたっては、「オスクレン」の2018年春・夏コレクションからインスピレーションを受け、同コレクションのテーマであるトロピカルフルーツとビーチを連想させるような、色鮮やかで楽しい見た目に仕上げました。

また、店内にはセレッタのボトルやサトウキビなどを飾るなど、まるでブラジルに来たかのような陽気な雰囲気演出します。日本ではまだまだあまり知られていないカシャッサを味わってみたい方、またブラジル文化のみならず、ファッションやアートが好きなお方にもお勧めの、「ブラジルの夏の夜風」をお楽しみください。「ブラジリアン・サマーナイト・ブリーズ」の概要は次頁のとおりです。



3種のトロピカルカクテル:

左から「ガール・フロム・イパネマ」、「シェガ・ジ・サウダージ」、「コバカバーナ・サンセット」



オスクレン 2018年春・夏コレクション

ANAインターコンチネンタルホテル東京「MIXX バー&ラウンジ」

『ブラジリアン・サマーナイト・ブリーズ』概要

- 期 間: 2018年7月1日(日)~8月31日(金)
- 店 舗: MIXX ^{ミックス}バー&ラウンジ(36FL.)
- 提供時間: 17:00~25:00 / 金曜日 17:00~26:00 / 日曜・祝日 17:00~24:00
- 席 数: 144席

■ドリンクメニュー: ※サービス料・消費税別、括弧内は主な材料。

- ◇ セレッタ・ハイボール 1,800円 (セレッタ、ソーダ、レモンジュース、ソルト)
セレッタのソーダ割り。シンプルな組み合わせで、すっきりとした味わい。
- ◇ カイピリーニャ 2,000円 (セレッタ、ライム、黒糖)
カシヤッサを使ったブラジルの代表的なカクテル。ポルトガル語で“田舎娘”という意味を持つ。甘くて爽やかな味わい。

3種のトロピカルカクテル ウィズ オスクレン&セレッタ

- ◇ コパカバーナ・サンセット 2,300円 (セレッタ、グアバジュース)
夕焼けでピンクに染まるコパカバーナ(リオデジャネイロのビーチ)を、グアバを使って表現したカクテル。
- ◇ ガール・フロム・イパネマ 2,300円 (セレッタ、ココナッツミルク、砂糖)
世界中で愛されるボサノバの名曲「イパネマの娘」に登場する、イパネマビーチの美しい女性をイメージしたカクテル。
- ◇ シェガ・ジ・サウダージ 2,300円 (セレッタ、パイナップルジュース)
ボサノバ不朽の名作「シェガ・ジ・サウダージ」にちなんで、切なさや郷愁、愛おしさといった感情を表現したカクテル。

■協力:

オスクレン (OSKLEN / 写真左)

ブラジルのリオデジャネイロを拠点に、ファッション、アート、文化、デザイン、自然を融合させ、ブラジルらしい現代的なライフスタイルを表現するブランド。2018年春・夏コレクションでは、ブランドの得意とするビーチカルチャースタイルを表現。流動的なスタイルと幾何学的なスタイルがミックスされたシルエットで、60年代のエッセンスも加え、パステル調でレトロな雰囲気を演出。

銀座店: 〒104-0061 東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 5階



セレッタ (SELETA / 写真右)

ブラジル国内で最も飲まれているハンドメイド・カシヤッサのひとつ。サトウキビの生産が盛んで、カシヤッサの銘醸地として有名なミナスジェライス州の蒸留所で、伝統的な手法で製造されている。ウンブラーナという木の樽で2年間熟成させ、琥珀色に輝く色合いが特徴。ライトな味わいで若者にも人気の銘柄。アルコール度数42%。

【MIXX バー&ラウンジのご予約・お問い合わせ】

レストラン予約センター TEL:03-3505-1185

ホームページ <http://anaintercontinental-tokyo.jp>

〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 ANAインターコンチネンタルホテル東京

アクセス: 東京メトロ銀座線・南北線「溜池山王」駅下車徒歩約5分

<参考>

■ ^{ミックス}MIXX バー&ラウンジ(36FL.) MIXX BAR&LOUNGE

「MIXX バー&ラウンジ」は、さまざまな人が出会い、新しい文化や味覚、音楽が混じり合い、人の輪が生まれる躍動的な国際都市“東京”をコンセプトとし、都内ホテルのラウンジの中でも最大級の広さ(約 600 ㎡/144 席)と、36 階から都心(皇居・六本木・赤坂)を見渡せる最高のロケーションを誇ります。MIXX というネーミングは多くの要素が混ざり合う意味合いから MIX に、そして X をダブルにして人と人との交わりを強調した造語となっています。店内は、「バーエリア」「ラウンジエリア」「THE MIXX ROOM」と3つにゾーニングされています。エントランス近くのハイテーブルで、夕焼けから星空へ移ろう幻想的な空の色や都会の摩天楼の光が徐々に浮かび上がる様を眺めながらのワンドリンクがお勧めです。



ANAインターコンチネンタルホテル東京 (ANA InterContinental Tokyo) について

日本のおもてなしの心が生む上質のホスピタリティと
国際水準のサービスを提供するインターナショナルホテル

施設規模：地上 37 階、客室数 844 室、12 のレストラン&バー、大小 22 の宴会場

ANAインターコンチネンタルホテル東京は、地上 37 階の建物に、客室数 844 室、12 のレストラン&バー、大小 22 の宴会場などを有しています。赤坂・六本木・霞が関まで各徒歩圏内という東京の中心に立地し、周辺には中央官庁、各国大使館、国内外の一流企業など、国際的な政治経済の中核機能が集結する環境にあります。天井高 14m、2,100 ㎡の広さを誇るアトリウムロビーには国際色豊かな人々が集い、躍動感溢れる洗練された雰囲気を醸し出しています。

客室は、「スイートルーム」「プレミアフロア」(クラブインターコンチネンタルルーム&スイートを含む)「エグゼクティブデラックスフロア」「クラシックフロア」と 4 大別され、滞在目的に応じたお客様のニーズに幅広く対応しています。客室階としてトップフロアにあたる 35 階には、国内最大級の広さ(約 600 ㎡)を誇る宿泊客専用ラウンジ「クラブインターコンチネンタルラウンジ」があり、クラブインターコンチネンタルルーム&スイートにご宿泊のお客様にご利用いただけます。同ラウンジでは、常駐スタッフが各種案内・手配等のサービスをはじめ、朝食サービスや時間帯に合わせたドリンクや軽食のサービスを行っています。このクラブインターコンチネンタルラウンジでは、「レセプション」「ライブラリー」「ダイニング&バー」「ミーティングルーム」などのゾーンを設け、お客様の利用目的に合わせてきめ細やかなサービスを提供しています。皇居・国会議事堂側、六本木ヒルズ・東京ミッドタウン側など、東京都心の最高の眺望を背景に、寛ぎと機能性がバランスよく融合した居住空間を創造し、世界各国からお客様をお迎えするインターナショナルホテルとして常に進化を遂げながら充実した施設とサービスの提供を図っています。

プレスリリース常時公開中 <http://anaintercontinental-tokyo.jp/release/>

【ニュースリリースに関するお問い合わせ】

ANAインターコンチネンタルホテル東京 広報担当：山下・森

TEL: 03-3505-1698 / FAX: 03-3505-3110 E-mail: sayaka.yamashita@anaintercontinental-tokyo.jp